

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	宮城大学	設置区分	公立
学校種	大学	都道府県	宮城
大学全体の総収容定員	1,680 名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科 組織構成	看護学群（看護学類） 事業構想学群（事業プランニング学類、地域創生学類、価値創造デザイン学類） 食産業学群（生物生産学類、フードマネジメント学類）		
事業計画名	「デザイン創学群」の新設		

2. 事業概要

本事業は、宮城県や東北地域が直面する経済・社会的課題を解決できる人材を育成するため、新たな学術フレームワーク「デザイン創学」に基づく教育を推進し、「Visionary人材」の輩出を目指す。具体的には、問題の本質を見極める力(Define)、対応策を考案する力(Ideate)、試作(Prototype)を通じた形づくり、検証(Test)と伝播(Envision)を包括する教育を編成し、AI・デジタル技術を活用した実践的学修を重視する。入学者選抜では総合型選抜を主体に、多様な資質を評価し得る仕組みを整備。さらに宮城県、地元企業・IT企業、他大学との協働により地域のニーズを把握し、工学・情報系分野での連携により高度なカリキュラムを実現する。またアントレプレナーシップ教育や伴走支援体制を充実させ、多様な学生への教育の質を担保するとともに、教学IRを加速させ教育成果の検証およびそのための体制整備・施設改修を行い、地域社会により一層貢献する体制を強化し、公立大学における新たなモデルの創出を目標とする。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	デザイン創学群					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	宮城県黒川郡大和町					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	60 名					
他学部等の入学定員の減少数	60 名					

事業計画名 「デザイン創学群」の新設			
基本情報			
改組予定年度	令和10年度	設置等組織名	デザイン創学群デザイン創学類
所在地	宮城県黒川郡大和町	改組内容	学部の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)
		入学定員増数(合計数)	60名
		入学定員減数(合計数)	60名

【社会や地域のニーズ・課題】

- ・宮城・東北において著しい人口縮小社会と閉塞感への対応
- ・新たな価値創出による社会変革の必要性
- ・地域における新たな教育ニーズへの対応
- ・先端技術の理解と社会への適応
- ・「総合知」を駆使し得るイノベーション人材の必要性

【育成する人材像】

新たな考えを創発、社会へ展開し、未来を創り出す
Visionary人材

=未来を構築し社会を変革するフレームである
「デザイン創学」に基づき
幸福な人口縮小社会を先導する人材

【デザイン創学群の教育概要】

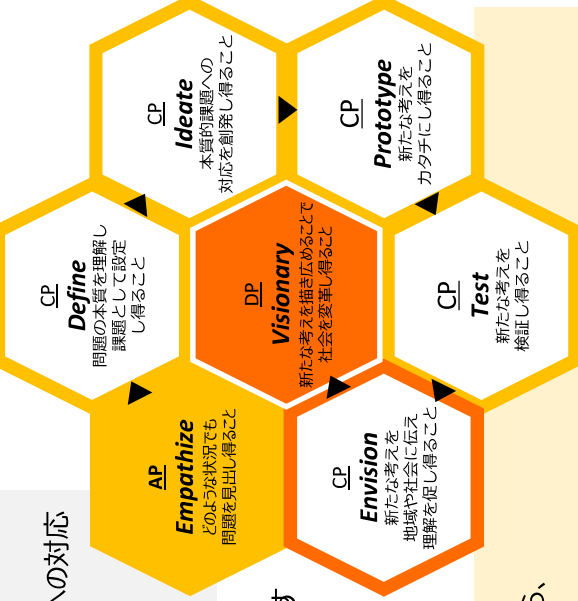
- ・現状の課題解決のフレームであるデザイン思考から、未来を構築し社会を変革する、デザイン創学へ
- ・デザイン創学における6つのプロセス（共感・定義・発想・試作・試行・構想）を基盤とする体系的なカリキュラム構成
- ・専門を深めると同時に、総合知を修得し実践することを可能とするための実践的演習・実習中心の学修体制

【カリキュラムの編成】

- ・『総合知』の習得と実践のための中核となる「デザイン創学基幹演習」と将来を見据えた学びをサポートする伴走支援
- ・数理・DS・AI認定教育プログラム（応用基礎レベル）に基づいた基盤的工学・情報学教育
- ・他大学講義やインターンシップ等の積極的な単位認定
- ・デザイン創学における生成AIの積極的活用

【教育環境の整備】

- ・デザイン創学に基づく教育研究の高度化と現代化に向けた本部棟、交流棟等の大幅改修の実施
- ・デザインシンキングとデジタル・AI、そしてXR、メタバース、デジタル造形を融合した多方面に渡るマルチレイヤーなプロジェクトベースの学びを実現するための講義・演習空間の整備
- ・遠隔講義やオンデマンド講義による柔軟な学修形態



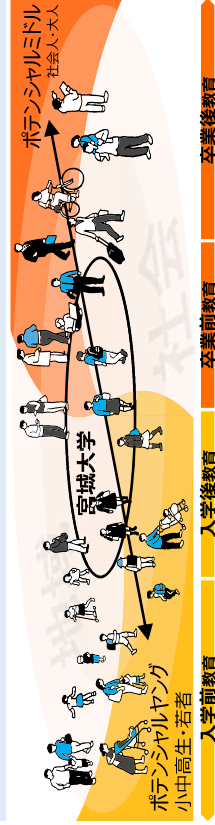
【多様な入学者の確保】

- ・関心のある高校生に向けた高大接続を通じた入学前教育
- ・総合型選抜による多才・異才および女子生徒の発掘
- ・高校生向けアントレプレナーシップ育成教育プログラム（JST START事業Edge-Prime Initiative）との継続的運用

【連携を通じた教育体制の整備】

- ・宮城県教育委員会・教育庁および高校等とのアントレプレナーシップおよび入学前教育による連携
- ・地域企業人材向プログラム（DDX）の正課プログラムとの融合
- ・IT系企業（IBM・NTTコム・FUJITSU・アクセンチュア等）の実務家講師や東北大学との連携による工学・情報学カリキュラムの高度化
- ・連携協定校（奈良県立大・県立広島大・兵庫県立大）等とのデザイン創学科目群の共同展開

新たな公立大学モデル：MYUモデルの創出



【外部資金の獲得】

- ・教員構成組織である「学系」の整理と整備による研究基盤の強化と公的な競争的資金の獲得増
- ・既存事業（社会人向けリカレント教育プログラム、高校生向けアントレプレナーシップ教育プログラム等）の更なる推進による、継続事業の獲得